

No. 17

場 所	東中野三丁目(鉄道用地内)	樹 木 医		診 断 日	2025 年 11 月 7 日
樹 木 番 号	11	樹高(H)=4.0m	幹周(C)=298 cm	枝張(W)=5.5m	
樹種名	サクラ	植 栽 形 態	☐ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☒ その他		支 柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

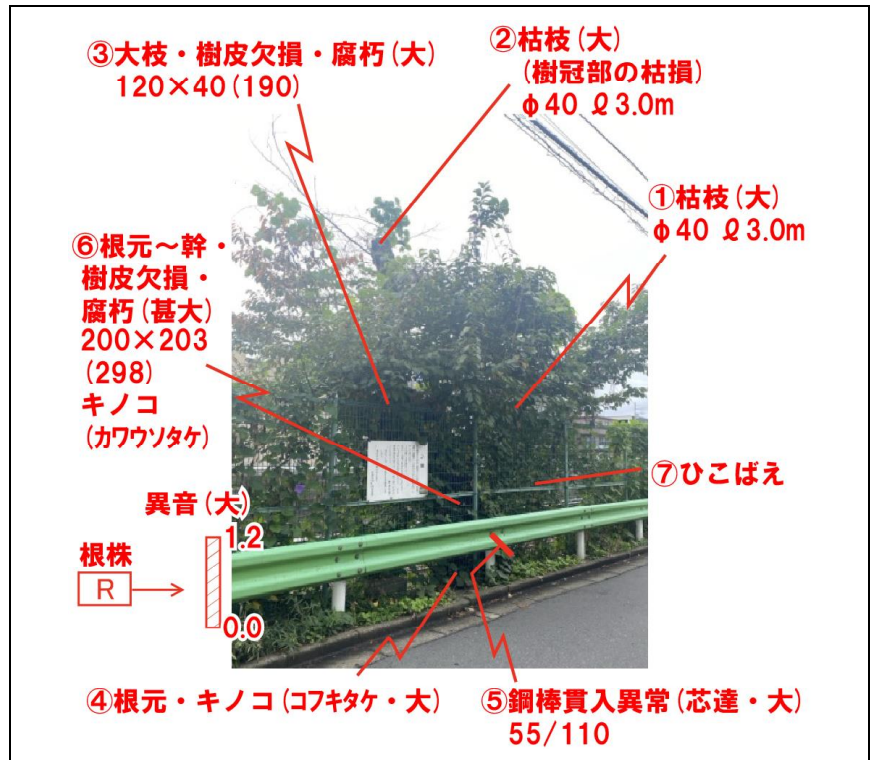
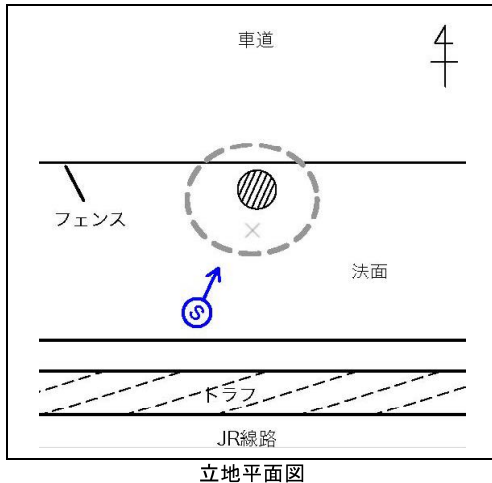
活 力 診 断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等		良 ← ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4 ☐ 5 → 不良							
	樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等		☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4 ☐ 5							
所 見	樹勢：樹冠部が衰退している。										
	樹形：強剪定あり。										
活力判定	☐ 健全か健全に近い ☐ 注意すべき被害が見られる ☒ 著しい被害が見られる ☐ 不健全										
外 観 診 断	診断内容 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝					
	樹皮枯死・欠損・腐朽 (周囲長比率)	☐ なし ☐ 1/3 未満 ☒ 1/3 以上		☐ なし ☐ 1/3 未満 ☒ 1/3 以上		☐ なし ☒ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上					
	芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上					
	芯に達した開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上					
	上記3項目のうち 最大被害部の周囲長比率	被害部幅 203	被害部周囲長 298	=	周囲長比率 68.1%	被害部幅 203	被害部周囲長 298	=	周囲長比率 68.1%	枯枝	☐ なし ☒ あり(φ40cm 23.0m)
	キノコ(子実体)	☐ なし ☒ あり(コナカ)		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()					
	木槌打診(異常音)	☐ なし ☒ あり(G.L.0-0.2m 大)		☐ なし ☒ あり(G.L.0.2-1.2m 大)		☒ なし ☐ あり()					
	分岐部・付根の異常	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()					
	胴枯れなどの病害	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()					
	虫穴・虫フン、ヤニ	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()					
	根元の揺らぎ	☒ なし ☐ あり()		建築限界越え 車道側 幹 ☒ なし ☐ あり ()		建築限界越え 歩道側 幹 ☒ なし ☐ あり ()					
	鋼棒貫入異常	☐ なし ☒ あり(55/110cm 芯達)									
	巻き根	☒ なし ☐ あり()									
	ルートカラー	☒ 見える ☐ 見えない()									
	露出根被害	☒ なし ☐ あり()		枝 ☒ なし ☐ あり ()		枝 ☒ なし ☐ あり ()					
	不自然な傾斜	☒ なし ☐ あり()		()		()					
	所 見	枯枝(大)あり。 枯枝(大・樹冠部の枯損)あり。 大枝の樹皮欠損・腐朽(大)あり。 根元のキノコ(コナカ・大)あり。同様の被害多数あり。 鋼棒貫入異常(芯達・大)あり。 根元から幹の樹皮欠損・腐朽(基大)あり。 ひこばえあり。 木槌打診音異常(G.L.0-1.2m)あり。 要機器診断(根株)。									
	部 位 判 定	判定・処置 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝				
健全か健全に近い		☐		☐		☐					
注意すべき被害が見られる		☐		☐		☐					
著しい被害が見られる		☐		☐		☒					
不健全		☒		☒		☐					
処 置	剪定が必要	☐		☐		☐					
	機器診断が必要	☒		☐		☐					
外観診断判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☐ B2：著しい被害が見られる ☒ C：不健全										
判定理由	不健全。根元から幹にかけての樹皮欠損・腐朽の被害が基大であり、地上部の大部分が枯死しているため、回復の見込みがない。										

機 器 診 断	測定データ 1	部位(根株)	腐朽空洞率: 81.1 %	t/R 率 ① 0.000	② 0.000	③ 0.275	④ 0.146
	測定データ 2	部位()	腐朽空洞率: %	t/R 率 ①	②	③	④
	所 見	〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。特に①②方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が完全に失われている。					

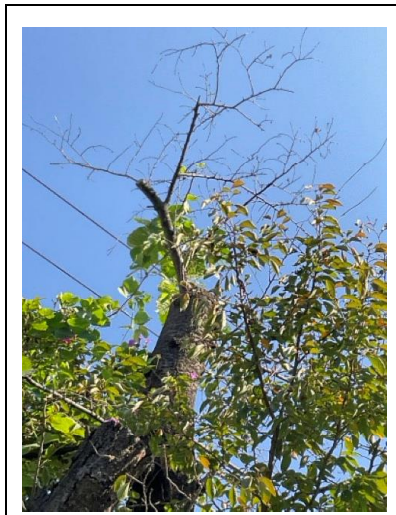
総合判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☐ B2：著しい被害が見られる ☒ C：不健全
判定理由	不健全。根元から幹にかけての樹皮欠損・腐朽の被害が基大であり、地上部の大部分が枯死しているため、回復の見込みがない。 機器診断の結果、根株に非常に大きな腐朽空洞が確認された。特に①②方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が完全に失われている。 樹高低減済みのため倒伏の危険性は小さいが、幹の大部分が枯死しており回復の見込みがないため、伐採を推奨する。

No. 17

処 置 内 容	必要性	☐ なし ☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)			
	☐ 剪定(枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)			
	☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新(撤去・植替えを要する。) ☐ その他()			
摘要	樹高低減済みのため倒伏の危険性は小さいが、幹の大部分が枯死しており回復の見込みがないため、伐採を推奨する。			



①枯枝



②枯枝



③大枝の樹皮欠損・腐朽

その他特記事項

次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断	
次回診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)	
位置座標(WGS84)	緯度 35.706320	経度 139.681793

樹木番号:11



④根元のキノコ(コキタケ)



⑤鋼棒貫入異常



⑥根元から幹の樹皮欠損・腐朽



⑦ひこばえ